

はなちゃんと
ねがいごとのパン屋さん



あるひ、はなちゃんは

ふしぎな もりで おさんぽをしていました。

すると、キラキラひかる おみせを 見つけました。

「パン屋さん？ でも、みせのなまえが……」

『ねがいごとのパン屋さん』

「ねがいごと？ パンに？」



おみせのまえには、
どうぶつさんたちが ならんでいます。

キツネさんは
「はやく はしれるパンをください！」

パンをもらうと、しゅっ！と かけていきました。

リスさんは
「おおきな くりのパンが ほしいな」

とびはねながら、パンを だっこしています。

「わあ、ほんとに ねがいが かなってるみたい！」



はなちゃんの ぱんがきました。

おみせのひとは やさしいこえで ききます。

「どんなパンが ほしいのかな？」

はなちゃんは すこし かんがえて、いいました。

「だいすきなひとと いっしょに たべる
メロンパンが ほしいです」



すると、ふわ~っと
あたたかい かがふいて、

ポンッ！と
きいろく まるい メロンパンが
あらわれました。

ふくろには、かわいい もじが かいてあります。

『だいすきなひとと たべてね』

「わあ、いいにおい！」



おうちにかえると、
はなちゃんはおかあさんに
メロンパンをわたしました。

「いっしょにたべようね」

ふたりでわけっこして、にっこりにっこり。

「おいしいね」

「はなちゃんのねがいがこもってるからね」

